

地域力の
再発見

佐伯市民大学「令和四教堂」講座が始動します！
～佐伯市の自然と人と地域を、紡ぎなおす学び～

佐伯市民大学 「令和四教堂」 講座開講！



- ☑ 講座期間 前期 令和3年12月～5年3月
後期 令和5年4月～6年9月
- ☑ 予定講師陣 ※変更する可能性もあることをご了承ください。

【前期】 岩佐 礼子（あまべ文化研究所）杉浦 嘉雄（日本文理
大学名誉教授）鬼頭 秀一（環境倫理学者）川原 一之（記
録作家）内山 節（哲学者）星野 文紘（羽黒山伏）
深津 高子（国際モンテッソーリ協会理事・保育環境アドバイザー）
【後期】 小谷 純久（元 気象予報士）古川 保（一級建築士）
島谷 幸弘（九州大学工学研究院環境社会部門 特命教授）
辻 誠一郎（歴史景観生態学者）辻 信一（文化人類学者）
藻谷 浩介（日本総合研究所 首席研究員）

● オリエンテーション

まずは

佐伯市民大学講座 3年間のプログラム説明会

日時／令和3年11月28日(日) 15時～

会場／保健福祉総合センター 和楽 第1会議室
(大分県佐伯市向島1丁目3番8号)

● 佐伯市民大学の目指すこと

佐伯市民大学「令和四教堂」は、佐伯市が抱える様々な課題や社会情勢の変化に対応し、「さいき7つの創生」を推進する「佐伯人(さいきびと)」の育成を目的とした事業です。講座のテーマは「地域力の再発見～佐伯市の自然と人と地域を紡ぎなおす学び～」。運営団体の「地元学の会」は、大分大学の学生を含む20代から50代の総勢12名の佐伯在住のメンバーで構成される団体。水俣で生まれた「ないものねだりをやめて、あるものを探し、地域の持っている力、人の持っている力を引き出し、あるものを新しく組み合わせ、ものづくり、生活づくり、地域づくりに役立てていく」という思想を軸に、市民大学講座を運営します。

市民大学
Q&A
詳しくは裏面へ